



ハーモニ

3学期が始まりました

昨日から3学期が始まりました。給食も今日から始まり、「七草ごはん、豚汁、たらのきのこあんかけ」学校という季節を感じさせるメニューでした。早く学校生活リズムを取り戻し、目標に向かって頑張ることを期待しています。2学期の終業式の時に意見発表を行った学年代表者3人の話を紹介します。

3年1組 後藤 拓夢(ごとう ひろむ)さん

1. 2学期はとても大変な学期でした。4月、3年生になり最後の中体連や高校入試に向けて頑張ろうと意気込んでいました。しかし、学校が休校になりました。僕は、中体連が行われるのか、受験までに勉強が間に合うのかとても不安でした。また、体育大会もあるのかもわからず、とても心配でした。しかし、僕たち1人ひとりの強い思いや、先生方、地域の方々の支えのおかげで体育大会や合唱コンクール、リアルHUGなどたくさんの行事を実施することができました。とても嬉しかったです。

僕がこの1. 2学期に頑張ったことは3つあります。1つめは部活動です。僕たちは阿蘇中と一の宮中の合同チームで練習をしたり、試合に出たりしました。最初は他の学校の人たちと話すことができませんでした。しかし、練習中や試合中にアドバイスや声かけをし合ったり、休憩中も趣味や勉強の話をしたりしていくうちに打ち解け合うことができました。今年は中体連がなくなってとても悔しかったですが、最後の試合でこのチームで戦えたこと、これまでみんなで頑張ってきた成果を出すことができたことがとても嬉しかったです。

2つ目は体育大会です。僕は赤団団長として、赤団全員が最後まであきらめず、全力でやり抜くことができる団になるよう頑張りました。最初のころは、どうやって団をまとめればいいか分からず、声も小さくて全然ダメでした。だから、まず声を出すところから頑張ろうと思いました。集合のときには誰よりも早くグラウンドに行って声をかけたり、声が後ろの人まで届くように意識して指示を出したりしました。みんなの前で声をしっかり出していくうちに、自信もついてきて、次の練習も頑張ろうという気持ちになりました。しかし、実際の練習では上手くいかないこともあります。そんなときにはクラスの仲間がアドバイスをしてくれたり、団リーダーたちと励まし合ったりすることで、僕はくじけずに頑張ることができました。家族も僕の相談に乗ってくれたり励ましたりしてくれました。みんなのおかげで最高の体育大会になりました。

3つ目は勉強です。受験生としてたくさん勉強してきました。1日3時間は絶対勉強しようと決めて頑張りました。特に頑張った教科は苦手だった社会や数学です。数学はこれまで習ったことの復習や間違った問題の説き直しをしました。社会は何回も覚えるまで書いたり、読んだりしました。

冬休みに頑張りたいことは勉強と家の手伝いです。勉強では今とっても苦手な英語を頑張っていきたいです。また、他の教科もしっかり頑張っていこうと思います。まずは1日3時間目標にして、もっともっと時間を延ばしていくよう頑張りたいです。家の手伝いは今年1年間あまり出来なかったので、年末の片付けや掃除を積極的にしていくよう思います。

2年1組 藤林 晃盛(ふじばやし こうせい)さん

僕の2学期の思い出は、2年1組のみんなで声を合わせて歌った合唱コンクールでの出来事です。最初の頃の練習では、ふざけて歌う人や、歩き回る人もいて、本番前日の練習でも、前を向いて歌っていない人がいました。しかし、本番、いざ歌ってみるとどうでしょうか？そこには1人ひとりが一生懸命声を合わせて歌う2年1組の姿がありました。僕は真剣に取り組めばこれまでよりはるかにすばらしい合唱が出来るんだと驚きました。同時に、初めからもっと自分から声をかけてみんなと団結して歌えていたら、さらにいい歌声になっていたんだろうと思い、悔しい気持ちにもなりました。

次に自分の周りの環境を変える努力が足りなかったと思います。クラスを見てみると、2学期は1学期に比べ、落ち着きもメリハリもなくなっていました。最初から、どうせ言つたって一緒だろうと思って注意出来なかつた時がありました。だから、3学期はもっと積極的に声をかけ、周りの環境を変えていきたいと思います。

今回、思い出、反省をもう一度振り返ってみると、本当は出来ることを本番にならないとやらなかつたり、以前出来ていたことが、出来なくなっていたりしていることが、2学期には多々見られました。きっと僕だけでなく皆さんの中にも、そう感じている人がいると思います。

これらのこと踏まえ、僕の3学期の目標は3年生になるという自覚を持って1つひとつのことに精一杯取り組むこと、自分の周りの環境を変える努力をすることにします。みんなでよい環境を創り上げていきたいと思います。これで僕の発表を終わります。

1年1組 佐渡凪紗(さど なぎさ)さん

私は今学期、自分で考えて行動することを頑張ってきました。初めは言われてからじゃないと出来なかつたことがよくありました。でも時間を意識して行動することができるようになり、授業に遅れてしまうことも無くなっていました。また、周りを見ることも少しずつ出来るようになり、そこからたくさんの人としゃべることもできました。でも、やらなければいけないことを後回しにしたり、自分の意見を発表できないことも多いので、そこを意識して直していきたいです。

3学期の目標は、相手の立場に立って物事を考えることです。私は自分の言動で相手に誤解させてしまうことがあります。だから、相手の気持ちを考えて行動できるようになりたいと思いました。私はもともと説明が苦手なので相手に伝えたいことを伝えられるようになりたいです。また、3学期は学年末のまとめがあるので、学習したことの復習も頑張りたいです。冬休みの間にも、苦手な教科の復習もしっかりしておきたいです。

学級全体では、授業中の私語が多かったり、提出物を期限内に出せないことがありました。3学期はそこを意識して生活できるようにしたいです。1人ひとりが周りを見て行動し、声をかけ合って、結びつきの強い学級にしていきたいです。

箱根駅伝をみて思ったこと

1月2日(土)、3日(日)に行われた箱根駅伝。駒澤

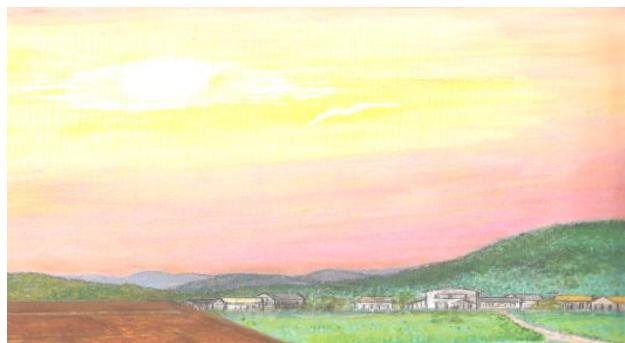
大学が、最終10区で3分19秒差をひっくり返す逆転優勝を果たしました。優勝候補の本命とみられていた駒大でしたが、大八木弘明監督は「9区が終わった時点で、ああ無理かな」と思ったそうです。しかし「あきらめなければ何が起きるかわからないと感じた」と優勝後のインタビューに応えていました。10区の石川拓慎選手は去年も同じ区間を走っていました。去年は記録1時間10分21秒、区間7位でしたが「去年悔しい思いをしたので、この同じ区間でやってやろうと思っていた」そうです。結果、今年は記録1時間9分12秒、区間1位でした。

また、2位の創価大学の榎木和貴監督の「タイムが走るんじゃない人が走るんだ」という言葉も印象的でした。榎木監督はインタビューに次のように応えています。「駅伝がタイムだけで勝負が決まるのなら、ただ速くなることを目指せばいいんです。でも当然、自分よりタイムの速い選手と走らなければいけないこともある。そのときに、あきらめて投げやりな気持ちで走るのか。それとも、「何が起こるかわからない」「私にはチームの仲間がいる」と考え、ベストを尽くせるか。厳しいときこそ、その人の人間性が出ると私は思っています。だからこそ、日ごろの練習はもちろん、私生活も含めていい加減なことをしない。それが、ひいては自分の競技レベルを引き上げることにつながるし、そういう選手を周りは応援したくなるものだと思います」駅伝以外にも通用する考え方だと感じました。

また、ツイッター等ではそれぞれの監督の発言に対して賛否の意見がいろいろ載っていました。そのことから「世の中には多様な考え方がある」と実感しました。

新年、いろんなスポーツの試合がありましたが、みなさんはどんなことからやる気をもらいましたか？それぞれの目標に向かって今年も頑張りましょう。

※校長室にある絵本に詩が載っています。3学期はこんな気持ちでスタートしたいと思っています。



目がさめカーテンを開け
ウーンと背のびきする
フーと見きはり
スーとリバーキモチ
くんびんの朝 くんびんの空気
くんびんの空 くんびんの雲
くんびんの太陽
しんひんの 今日が
しんひんの 始まります
みんな みんな
しんひんです みんな